



# そよ風



大阪市立大学  
医学部附属病院

発行/大阪市立大学医学部附属病院 良質医療委員会  
〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号  
TEL 06-6645-2711  
http://www.med.osaka-cu.ac.jp/hosp/

2010年8月  
第12号



Smile! / Service! / Science! 笑顔の大学病院を目指しています

## Face-To-Faceの会 という 医療連携の勉強会って知っています?

患者さんを、スムーズに診療していくためには、それぞれの医療施設が、その規模や役割に応じて分担・連携することが重要です。大学病院のことを批判的に、3時間待ち3分診療などと言われてきたのも、他の医療機関との連携がスムーズに取れないことが原因だったようです。

当大学病院では、高度で先進的な医療を患者さんに提供することが使命であると考えており、その使命を果たすためには、高度で先進的な医療が終了した患者さんや、これを必要としない患者さんには、地域の医療施設(診療所など)に戻っていただくことが大事です。逆に、高度な医療を必要とする患者さんが地域で見つかった場合は、速やかに当院に紹介してもらう必要があります。

このような連携強化には、まず、地域と当院の医師同士が知り合いになっておくことが大事と考え、『Face-To-Faceの会』を4年前に開始し、この6月に第十三回目をを行いました。会の名称も、医師同士が顔みしりになることを基盤に連携を図りやすくすることをイメージして、こう名付けました。

勉強会の内容は、紹介いただいた患者さんの中から、

ためになるケースを各診療科の若手医師に発表してもらい、次いで、上級の医師(教授、准教授クラス)から、その科で取り組んでいる先進医療を紹介いただいています。地域の先生方も、どんな先進医療が行われているかを知っていれば、当てはまる患者さんを紹介しやすいので好評です。また、「情報提供コーナー」を設けて、当病院がどのような取り組みをしているかも紹介しています。

がん、肝疾患、認知症の拠点病院にもなっており、具体的にどのようにして地域と連携していくかということも、この会で話し合っています。また、本年の4月に患者総合支援センターを開設(1年間試行、来年4月本格運用)し、患者さんのあらゆる疑問を解決しながら、スムーズな医療連携に結びつけていくために鋭意努力を続けています。

(文責:荒川哲男 副院長)



### 理念

私たちは、医学部建学の精神である「智・仁・勇」に基づき市民の健康に寄与する質の高い医療を提供します

こころ豊かで信頼される医療人を育成します

医療の進歩にたゆまぬ努力を続けます

### (大学病院の) めざすところ 基本方針

- ・患者本位の安全で質の高い医療を提供します
- ・地域医療の向上に寄与します
- ・健康・予防医学を推進します
- ・最新の高度医療を提供します
- ・人間味豊かな優れた医療人を育成します
- ・新しい診断法・治療法・予防医学の開発を行います
- ・質の高い多彩な研究を推進します



## 安全管理対策室だより ～安全・安心で、みんな笑顔の病院づくり～

### 第6回 ー痛い!怖い!転倒を防ごうの巻ー



入院中は、どうしても運動量が減るので足腰が弱くなりますよね。眠気やふらつきを起こすお薬を飲んでおられる方も多いと思います。その上、慣れない入院生活を送っていると、思いもよらない場所ですまづいたり、ふらついたりして、転んでしまうことがあります。また、一人でトイレに行くと転んでしまう、ベッドから降りるときに転んで



スリッパは  
脱げやすいので  
注意が必要

しまう、履いていたスリッパが脱げて転んでしまう...等々、ご家庭では「一人で、できたはず!」の動きであっても、転んでしまうこともあるのです。お年寄りなど骨が弱い方が転ぶと、大きな手術をしなければならないような、骨折(大腿骨頭頸部骨折)や脳出血を起こしてしまうことがあり、とっても恐いんです!

そこで当院では、みなさまの入院生活での「転びやすさ」(転倒リスク)を客観的に評価し、みなさまお一人お一人に合わせた防止対策をご提案しております。

たとえば、「転びやすい方」(転倒リスクの高い方)が動かれるときには、看護師が付き添い、お手伝いさせていただいています。トイレに行く時も、遠慮せずに声をかけてください。また、入院中の履物は滑りにくいものを履いていただくようお願いしています。運動靴などの滑りにくい履物をお持ちでない方のため、地下1階の売店で「転倒予防シューズ」(1,995円)の取り扱いも始めました。転倒予防のための色々な工夫がされていますので、一度売店で現物をご確認ください。



トイレに行く時も遠慮せず  
声をかけて下さい

これらの他にも、病院内での事故を防止するために様々な取り組みを行っています。病院で安全にお過ごしいただくためには、皆様のご理解とご協力が大切です。どうぞ、よろしくお願いいたします。



転倒予防シューズ

## 神経精神科

外来の新患者数は年間二千人以上と大阪府下では最も多く全国でも屈指です。うつ病や不安障害、統合失調症を中心に疾患は多岐に渡り、年齢層も児童思春期（主に中学生以上）から高齢者の認知症まで幅広く診察しています。特に摂食障害は、切池診療部長が日本摂食障害学会の理事長であり、近畿圏を超えて患者様が受診されています。



大阪市内唯一の大学病院であることから職域で働いている患者様も多く受診され、産業現場と連携した対応も行っています。また大学病院として、身体的治療を必要とする精神障害者への対応や、がんなどで苦しんでいる方への対応（緩和ケア）も行っています。

当科ではより正確な診断を行うために、CT、MRI、脳血流シンチグラム（SPECT）等の画像検査、脳波などの生理検査、心理検査などを行いながら、薬物療法と精神療法を組み合わせた全人的対応を行うように心がけています。

治療は主に外来で行いますが、必要に応じて閉鎖および開放病棟での短期入院治療も行います。現在薬物依存の治療やいわゆるカウンセリングは行っておらず、適切と判断した場合には関連施設に

紹介するなど、他の医療機関とも積極的に連携をとっています。

当科のモットーとして、患者様の苦しみや悩みが少しでも早く改善し、早期に社会復帰していただけることを目指しています。



## 禁煙外来

タバコ煙には4000種類以上の化学物質、約200種類の有害物質、約60種類の発癌物質が含まれており、悪性腫瘍、循環器疾患、脳血管障害、慢性閉塞性肺疾患をはじめとする肺疾患、糖尿病、消化器疾患等さまざまな疾患の発症、増悪に関与しています。



タバコに含まれる物質のなかで、ニコチンは世界保健機関(WHO)の国際疾病分類第10版においても依存性物質と規定されており、使用者に依存症を発症させる頻度はヘロイン、コカイン、アルコールをしのぎ、使用中止の困難さはヘロイン、コカイン、アルコールと同等です。したがって、喫煙者は、「やめる意志が弱いだけの問題」として片付けてしまうのではなく、ニコチン依存症という病気に罹患している、という視点が必要です。また、能動喫煙だけでなく、受動喫煙による健康被害も重大な社会問題です。

喫煙、そしてニコチン依存症という深刻な問題を少しでも緩和するため、本年4月はじめより、総合診療センター内に禁煙外来を開設いたしました。

喫煙者の方は、禁煙外来を受診するにあたり、勇気をふりしぼって診察室の扉をたたき、治療を開始していただけます。

これまでの行動を変え、禁煙を達成しようとする決意と勇気を大切に、禁煙達成の支援をする準備を整えて診療を行っております。また、たとえ一度失敗しても、あきらめず何度でも禁煙に挑戦していただく、その支援もおこなっていく準備も整えております。



現在は大阪市立大学医学部附属病院にご通院中の喫煙者の方のみが対象です。ご通院中の喫煙者の方で、禁煙をする意志がある、という方がおられましたら、ご紹介をいただけますれば幸いです。よろしくお願い申し上げます。

### 患者様の権利

- ・安全で質の高い医療を受ける権利があります
- ・自由意志に基づき治療を選択する権利があります
- ・十分な説明と情報提供を受ける権利があります
- ・セカンドオピニオンを希望される場合は、紹介を受ける権利があります
- ・人の尊厳を尊重した医療を受ける権利があります
- ・医療に関する個人情報やプライバシーが保護される権利があります
- ・健康教育を受ける権利があります

### 患者の皆様へのお願い

- ・あなたの健康に関する情報は、できる限り正確にお伝えください
- ・病院スタッフの説明がわかりにくい場合は、納得できるまでお聞きください
- ・診療上必要な指示や助言は、お守りください
- ・他の患者様の権利を尊重し、迷惑が掛かることのないようにご配慮をお願いします
- ・治験・臨床試験に、ご協力をお願いします
- ・大学病院の責務である医療人の育成と研究に、ご理解とご協力をお願いします



### 病院ボランティアを募集しています!!

#### ◆活動内容◆

- ・外来を中心とした患者さまへの院内案内
  - ・車椅子をお使いの患者さまやお身体の不自由な患者さまの移動介助
  - ・その他
- ※活動内容に関するアイデアにつきましても、今後考えていきたいと思っています。

#### ◆お問合せ先◆

〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7  
 大阪市立大学医学部附属病院  
 ボランティアルーム  
 TEL/FAX: 06-6645-2694  
 E-mail: volunteer@med.osaka-cu.ac.jp

★外来でオリジナルエプロンを着用しているスタッフにお声掛けください。

### 大阪市立大学医学部附属病院の概要

所在地 〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号 初診受付時間 午前9時～午前10時30分  
 電話 (06)6645-2121 (代表) 休診日 土・日・祝日、12月29日～1月3日

#### 診療科

総合診療センター、循環器内科、呼吸器内科、膠原病内科、生活習慣病・糖尿病センター、腎臓内科、骨・リウマチ内科、消化器内科、肝胆膵内科、小児科・新生児科、神経精神科、皮膚科、放射線科、放射線治療科、核医学科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、肝胆膵外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、女性診療科(産婦人科)、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科・ペインクリニック科、形成外科、血液内科・造血細胞移植科、老年科、神経内科

※本院は、専門医療を中心に医療を提供していますので、受診するには原則、診療情報提供書(紹介状)が必要です。

